

地域のリーディング企業

## 平田牧場創業50周年

次の5年に向けて――

平田牧場では、飼料

用米以外でも、社会を先導する取り組みが多いと思います。

◆うちでは資源循環にも力を入れ、豚の排せつ物を完熟有機堆肥にし、豚舎の敷料としてリサイクルしています。生産された豚肉はなるべく添加物を使わずにハム・ソーセージなどに加工して提供しているほか、国産素材と化学調味料不使用にこだわる全国の飲食店を「良い食の会」としてネットワーク化し、これから食のあるべき姿を示しています。企業として利益を上げ雇用を維持することは重要ですが、同時に、従業員や消費者の暮らし、そして

て、地域をより良くしてい

くことに貢献できればと考えています。

そうした考え方の下、今年4月からは従業員の福利厚生の一環で、従業員とその家族(子供)を対象に、歯科メンテナンスへの助成を

万円を上限に助成するもの

です。予防歯科の世界的権威といわれる日吉歯科診療所(酒田市日吉町二丁目)

の熊谷崇先生の考え方と共に感したこともあり、会社と

始めました。年間に大人は1万5000円、子供は1

一生自分の歯で食べられるように、新しい形の福利厚生の在り方だと思います。

社員が健康だということは、健康企業としてのエビデンス(証拠)として発信もできます。うちには限らず各企

業が従業員一人一人の健康づくりを進めていけば、健

康なまちづくりへつながっていくと思います。

――企業は、従業員や地域に対する大きな影響力を



創業50周年と河北文化賞受賞祝賀会であいさつした平田牧場の(左から)新田嘉七社長、嘉一會長、嘉七社長の長男で社長室勤務の嘉一郎氏=今月8日、酒田市のガーデンパレスみずほ

## 社員の健康づくりからまちの健康へ――食に関わる「医者」として地域の役に

――「医療とまちづくり」をテーマにした講演会も開くそうですね。

◆熊谷先生とのつながりで今月25日、「あなたの仕事は『誰を』幸せにするか？」の著者である医療法人社団KNI理事長の北原茂

で実先生(脳外科医)を酒田市に招き、講演してもらいました。北原先生はビジネス

が持っている社会を変えたい力に注目し、「総合生

業が従業員一人一人の健康づくりやまちづくりに貢献します。うちは食に関わるわかれも「医者」として、人々の健康づくりを進めなければなりません。うちは食に関わるわかれも「医者」として、人々の健康づくりやまちづくりに貢献します。うちは食に関わるわかれも「医者」として、人々の健康づくりやまちづくりに貢献します。

――企業は、従業員や地域に対する大きな影響力をもつてます。環境づくりが大事だと思います。そこで、これまでの経験をもとに、地域に対する影響力をもつてます。環境づくりをしていくようなり場を増やしていくような取り組みを実現しています。その北原先生は、「一番大切なのは食べ物」と言っています。医療は救急と外科以外は全て生きる在り方だと思います。また、予防歯科の世界的権威といわれる日吉歯科診療所(酒田市日吉町二丁目)の熊谷崇先生の考え方と共に感したこともあり、会社と

して従業員と家族の健康づくりをパックアップするとよいことがあります。良い食材を一生自分の歯で食べられるように、新しい形の福利厚生の在り方だと思います。

――企業は、従業員や地域に対する大きな影響力をもつてます。環境づくりが大事だと思います。そこで、これまでの経験をもとに、地域に対する影響力をもつてます。環境づくりをしていくようなり場を増やしていくような取り組みを実現しています。その北原先生は、「一番大切なのは食べ物」と言っています。医療は救急と外科以外は全て生きる在り方だと思います。また、予防歯科の世界的権威といわれる日吉歯科診療所(酒田市日吉町二丁目)の熊谷崇先生の考え方と共に感したこともあり、会社と